

オフィス電力の見える化技術 (参考出展)

【概要】

省エネ法の改正により、オフィスでの省エネの重要性が増大します。オフィスの省エネでは、業務に応じたエネルギーの使い方が鍵となります。業務とエネルギーの関係を把握するには、既存の分電盤でのマクロな消費電力の把握に加えて、コンセントというミクロな単位での消費電力の把握と人の行動との関係の把握が重要です。そこで、**小型・高性能なスマートコンセント技術と、人の行動とコンセント単位の消費電力を統合した見える化技術を開発しました。**

【技術のポイント】

1. スマート電源タップ技術

精度・安全性を確保しつつ、**コンセント1口当り業界最小の大きさ**を実現。小型化により、きめ細かい消費電力の把握が可能に。

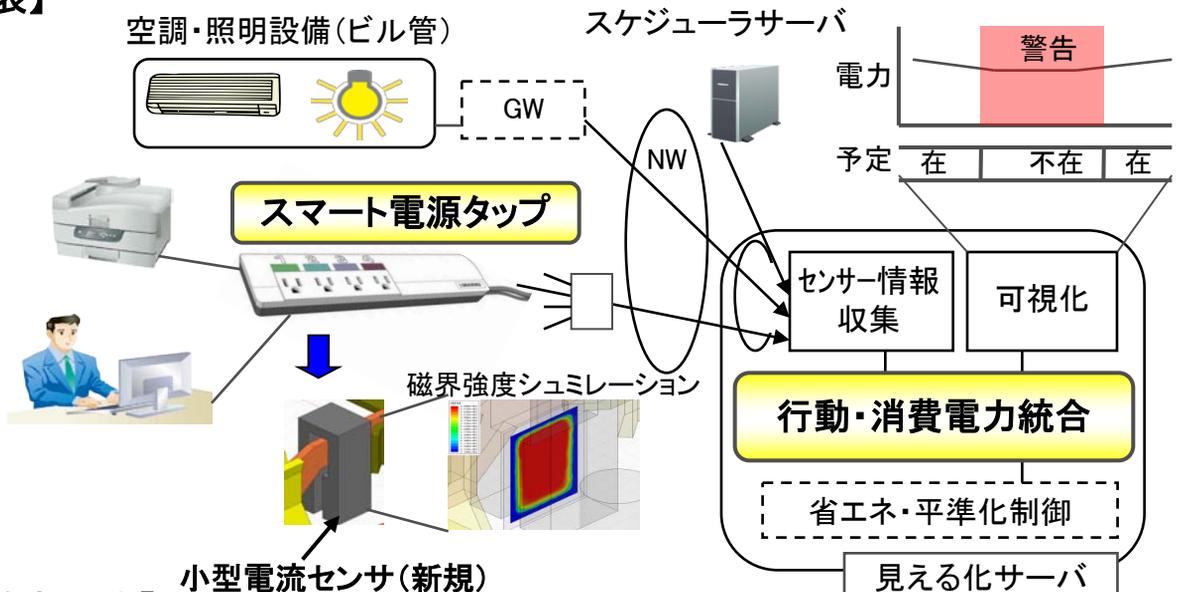
2. 見える化技術

センサー情報を収集・容易に扱えるセンシング基盤を活用し、**人の行動とコンセント単位の消費電力を統合した見える化技術**により、個人単位で意識付けを行い省エネを促進。

【適用例】

1. 電力の消費状況の「見える化」を通じた省エネ
2. 電力のきめ細かい使用状況のリモート・集中管理を通じた省エネ
3. 空調照明(ビル管理システム)連携による省エネ

【図・表】



【問い合わせ先】

富士通研究所 ヒューマンセントリックコンピューティング研究所 FGI-staff@ml.labs.fujitsu.com